

# 東京市水道小河内貯水池愈起工

東京市水道の第二期擴張計畫に屬する小河内貯水池は、昭和8年起工を前にして圖らずも惹起された神奈川県側との紛糾が容易に解決されず、足かけ4箇年の長い歳月を揉みに揉んだ揚句、昨年の暮には地元の住民が大舉して促進の陳情を企てる等の事件もあつて愈々内務省の裁定にまでかゝらうとしたが、本年3月辛うじて協議が成立し、此世界的大工事は愈々實現の緒に就いたのである。

本工事の計畫に就ては昭和7年7月號の本誌に小野基樹氏が詳細に發表されてゐるが、その後堰堤地點の地質に關し再調の結果、其位置を約2軒下流に移動せしめた等の變更を來したから、其設計の要領を茲に記すことにした。即ち小河内貯水池は

東京府西多摩郡小河内村に於て多摩川を横斷して堰堤を等き、同郡小河内村・山梨縣北都留郡丹波山及小菅の諸村に跨つて貯水池を設け、同川の水量豊富なる時に之を貯溜し、渇水の時之より補給するものである。貯水池及堰堤の規模は次の通り。

貯水池満水有効容積	1億8千4百萬立米
堰堤總高	149米
池底上	146米
頂長	320米
頂幅	8米

而して左岸に於て堰堤に近く餘水吐を設け貯水池満水位以上の餘水を堰堤下流に放流せしめ、又貯溜せられた水は堰堤の中央部に設ける取水塔によつて導き出され、一旦多摩川

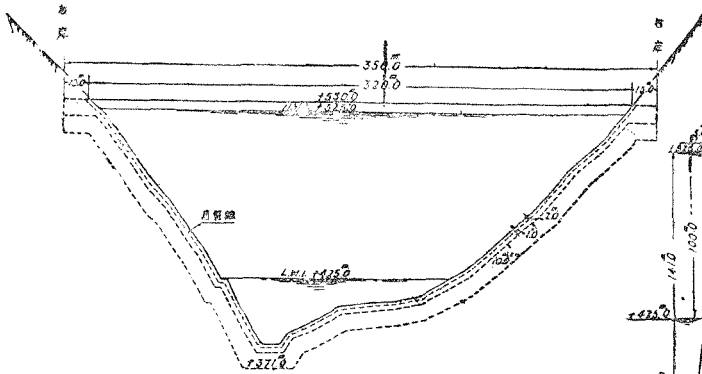


に放流されて、同川延長約 36.0 軒を利用して  
 羽村取入口に達せしむるものである。

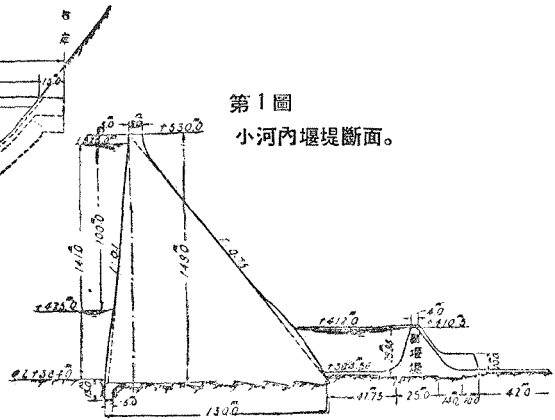
×

東京市に於ては此劃期的な大工事を完成せ  
 しむる爲小河内貯水池建設事務所を創設、本  
 貯水池の計畫者たる前擴張課長小野基樹氏を

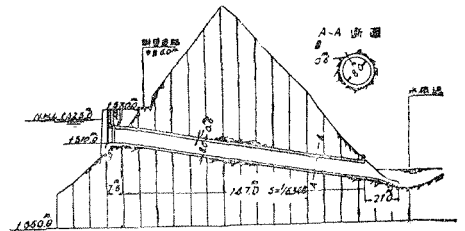
その初代所長とし、工事係長に龜田素氏、計  
 畫係長に佐藤志郎氏を据え、慎重なる準備を  
 進めつゝあり、本月中旬先づ準備工事として  
 の道路改修に着手、目下外遊中の小野所長の  
 歸朝を待つて明春華々しく起工式を舉行する  
 事になつてゐる。



第 3 圖  
 小河内貯水池附近平面圖。



第 1 圖  
 小河内堰堤断面。



第 2 圖 餘水吐断面圖。



第4圖 小河內堤堤平面圖。

